

【研究者・学生対象】第13回 CISMOR セミナー

# 現代の過激派グループと世界分割：イスラームからの視点

Modern Extremist Groups and the Division of the World: A Critique from an Islamic Perspective

永田 正樹 Dr. Masaki NAGATA

2017年11月16日(木) 15:00 -16:30  
同志社大学今出川キャンパス 至誠館 S33 教室

ロンドン大学東洋アフリカ研究学院法学修士課程修了、ブルネル大学法学博士課程修了。研究分野は、イスラーム法、国際人権法。

現代の過激派グループはイスラーム教のドグマを再び使用し、自分たちの目的達成のためにそれらを故意に誤解釈している。Dae'sh (いわゆるイスラーム国)がもっとも象徴的な例である。彼らは7世紀のKhawaji (ハワーリジュ派)のように彼らが支配する領域のみが"イスラームの家"であると主張し、それ以外の領域はすべて "イスラームを拒否する人々の家" または"戦争の家"と主張、さらにイスラーム教徒の支配者に対して"異端"の宣言を行った。また、hijra(ヒジュラ)の概念を自衛上の目的ではなく、彼らの勢力拡大のために世界中から military jihad (軍事的聖戦) の参加者を募り、イスラーム国を設立するために利用した。この講義はイスラームの歴史上これらのドグマがどのように発展し、過激派グループにより現代において誤解釈されているかを考察する。



15:00 - 15:05	挨拶	四戸 潤弥 (神学部・神学研究科教授/CISMOR センター長)
15:05 - 15:50	講義	永田 正樹
15:50 - 16:30	質疑応答	

\* 講義は主に英語で行われますが、日本語による解説もありますので奮ってご参加ください。 [Lecture in English](#)

\* CISMOR セミナーは1年を通して定期的に開催する予定です。申込みは不要ですが、今後継続して参加をご希望の方には事前に連絡・資料配布などいたしますので、ご登録をお願いします。氏名・所属大学・ポジションをご記入の上、一神教学際研究センター [rc-issn@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rc-issn@mail.doshisha.ac.jp) までメールにてご登録ください。